

大阪市立大江小学校 平成 30 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

学校運営の中期目標

現状と課題**【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】****【視点 学力の向上】**

○算数 A・B は、平均正答率が大阪市平均を(約 6 ～ 10 ポイント)を上回っている。全国平均値を(約 2 ～ 6 ポイント)上回っている。一方国語は A においては大阪市平均値を 2 ポイント、B においては大阪市平均値を 4 ポイント上回っているにもかかわらず、全国平均値と比較すると若干下回る結果となった。

経年調査においては、国語・算数とも 3 年生から 6 年生まですべてのクラスで大阪市の平均値を大幅に上回ることができていた。

●全国学力学習状況調査国語 A における「話すこと・書くことの」の問題が 1 問しかなくその問題の正答率が全国平均値を 15 ポイントも下回る結果となり、この 1 問で平均値が下がってしまった。互いの意見をしっかりと聞き、自分の意見を語れるような授業づくりが必要である。また、漢字の定着が低く、漢字の力をつけるように朝の学習や様々な機会を通じと指導時間数を増やしていきたい。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】**【視点 体力の向上】**

○耐寒駆け足や体育委員会の取り組みによる運動強化週間のせっていにより、体を動かそうとする児童が多くなりつつある。

○歯磨き等の習慣化については目標数値を上回り定着している。

○食器ピカピカ運動なども目標数値を上回り一定の成果が見られた。

●体育授業の質の高さを追及していく必要がある。領も確保しないといけないということもあり継続的な課題である。

●スポーツテストの結果を活用して体力向上の具体的な取り組みを進めていかななくてはならないが、運動量確保を目的とした研修会等を開くなどして、子供たちの実態に即した内容の研修会にしていく必要を痛感している。

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】**【視点 道徳心・社会性の向上】**

○帰りの会などで友達を励ましたりほめたりする言葉をたくさん使うようによびかけた。

よい行動をした友達への賞賛を行う時間を確保したことにより、少しずつではあるが自尊感情も育ちつつある。

○たてわり班での集会やなかよし清掃等、高学年児童が低学年児童に対してやさしく接する姿が見られ、異学年の交流は深まっている。児童アンケートでも「異学年と友達と協力して活動ができた」の項目で、「そう思う」「まあそう思う」と答える児童の割合は 90%をこえている。

●日本語の苦手な児童への指導や周りの子供たちへの指導などを進める必要があると同時に教職員へのそのような児童への働きかける方法等についての研修を行う必要がある。

●右側通行や廊下階段を走らないというごく基本的なことがまだまだできていない。引き続き指導していく必要を痛感している。

大阪市立大江小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

中期目標**【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】****【視点 学力の向上】**

- 校内の学習アンケートにおいて「学校で学習するのが好きで自分から進んでやる。」や「授業の内容は、自分ではよくわかっている」という授業の内容についての子供たちの意見について、肯定的に回答する児童の割合を向上させる。(マネジメント改革)
- 「主体的・対話的で深い学び」をめざし、授業を展開する。(カリキュラム改革)
 - ・経年調査国語の「書く能力」「読む能力」「話す・聞く能力」の観点で、大阪市の平均値を2ポイント以上上回るようにする。(カリキュラム改革関連)
- 「本校の教育に関するアンケート」
 - ・「家庭で学習することができている」と答える児童の割合を前年度水準より向上させる。(カリキュラム改革関連)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】**【視点 体力の向上】**

- 「全国体力・運動習慣等調査」
 - ・20mシャトルラン・反復横とび・長座体前屈(男女)、50m走・立ち幅とび(男子)の平均を全国水準とする。(カリキュラム改革関連)
 - ・「早寝・早起き・朝ご飯の習慣が身についている」と答える児童の割合を毎年、向上させる。(カリキュラム改革関連)
- 「本校の教育に関するアンケート」
 - ・「運動に親しむことができている」と答える児童の割合を毎年、向上させる。(カリキュラム改革関連)

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】**【視点 道徳心・社会性の向上】**

- 「全国学力・学習状況調査」の児童質問紙「学校のきまりを守る」や「いじめはどんな理由があってもいけない」に関する項目で「当てはまる」と答える児童の割合を、全国水準とする。(カリキュラム改革関連)
- 「本校の教育に関するアンケート」
 - 「まわりの人にやさしく、一人でぼつんという子がいないように」で、「そう思わない+あまりそう思わない」と答える児童の割合を前年度水準より減少させる。(カリキュラム改革関連)
- 互いのちがいを認め合い、共に学び、共に育ち、共に生きる集団を育成していくために、「たてわり班活動」や「多様な体験を伴う活動」を前年度水準より充実させる。(カリキュラム改革関連)

大阪市立大江小学校 平成 30 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

中期目標の達成に向けた 30 年度目標 (全市共通目標を含む)

※運営に関する計画再掲

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

【学力の向上】【健康・体力の保持増進】

全市共通目標 (小・中学校)

- ① 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- ② 小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 0.5 ポイント減少させる。
- ③ 小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 0.5 ポイント増加させる。
- ④ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- ⑤ 立ち幅跳びの記録を前年度より 1 ポイント向上させる。

学校園の年度目標

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 【学力の向上】

- ① 校内の学習アンケートにおいて、「学校で学習するのが好きで、自分から進んで取り組んでいる」、「授業の内容は、自分ではよく分かっている」において、「そう思う」「ややそう思う」と答える児童の割合を昨年度を維持または向上させる。(マネジメント改革関連)
- ② 児童が課題を見つけ、お互いに協力し主体的に解決していく「主体的・対話的な深い学び」を積極的に取り入れる。(カリキュラム改革関連)

学校園の年度目標

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 【健康・体力の保持増進】

- ① 「体育科の授業についての児童アンケート」で、「運動に親しむことができている」と肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- ② 「本校の教育に関するアンケート」で、「身のまわりをせいけつにしようと心がけている」や「食べることは大切である」の項目について、肯定的に回答した児童の割合を平成 85%にする。(カリキュラム改革関連)
- ③ 「できる喜び」「運動する楽しさ」を味わうことができる体育授業力の向上をめざし、研修会を充実させる。(マネジメント改革関連)
- ④ 立ち幅跳びの記録を前年度より 2 ポイント向上させる。

大阪市立大江小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

【道徳心・社会性の向上】

全市共通目標 (小・中学校)

- ① 平成30年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- ② 平成30年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校の決まり・規則を守っていますか。」の項目について「当てはまる、どちらかといえばあてはまる。」と答える児童の割合を85%以上にする。
- ③ 平成30年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- ④ 平成30年度末の校内調査において、あらたに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- ① 「本校の教育に関する児童アンケート」で、「人それぞれ違いがあり、いろんな友達と一緒に学ぶことでいい友達関係ができています」と好意的な回答をする児童の割合を85%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- ② 「本校の教育に保護者アンケート」で、「なかまを大切に作る心が育ってきている」という設問に対して肯定的な回答の割合を85%以上にする。(カリキュラム・ガバナンス改革関連)
- ③ 「全国学力・学習状況調査」の児童質問紙の「学校のきまりを守る」「いじめはどんな理由があってもいけない」に関する項目で肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- ④ 集団育成や児童理解の深化に向けて、人権教育や特別支援教育等の研修会を平成29年度に引き続き充実させる。(マネジメント改革関連)

大阪市立大江小学校 平成 30 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>【視点 学力の向上】</p> <p>① 校内の学習アンケートにおいて、「学校で学習するのが好きで、自分から進んで取り組んでいる」、「授業の内容は、自分ではよく分かっている」において、「そう思う」「ややそう思う」と答える児童の割合を昨年度を維持または向上させる。(マネジメント改革関連)</p> <p>② 児童が課題を見つけ、お互いに協力し主体的に解決していく「主体的・対話的な深い学び」を積極的に取り入れる。(カリキュラム改革関連)</p> <p>平成 30 年度の小学校学力経年調査における</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準化得点を、前年度より向上させる。 ・正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 0.5 ポイント減少させる。 ・正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 0.5 ポイント増加させる。 ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度維持または増加させる。 	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①、②【言語力や論理的思考能力の育成】</p> <p>課題を見つけ、互いに意見交換する中で主体的に解決を図っていく「主体的・対話的な深い学び」を積極的に取り入れる。</p>	
<p>指標 校内の学習アンケートを実施し、「積極的に意見が言えた」「友達の意見をしっかりと聞けた」と答える児童の割合を 70%以上にする。</p>	
<p>取組内容①【習熟度別少人数指導の充実】</p> <p>特に習熟の度合いの低い児童にきめ細かい指導を行うために、習熟度別少人数指導コーディネーターと担任とが指導法について話し合い、児童が達成感を味わえるような指導を進めていく。</p>	
<p>指標 習熟度別学習についてのアンケートを行い、「学習内容がわかる」と答える児童の割合を 60%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【外国語活動の充実】</p> <p>週 2 回の外国語活動(モジュール)の時間を設定し、外国語に慣れ親しむようにする。</p>	
<p>指標 校内の学習アンケートを実施し、「楽しんで活動できた」と答える児童の割合を 70%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

(様式2)

大阪市立大江小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>【視点 道徳心・社会性の向上】</p> <p>① 「本校の教育に関する児童アンケート」で、「人それぞれ違いがあり、いろんな友達と一緒に学ぶことでいい友達関係ができていいる」と好意的な回答をする児童の割合を85%以上にする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>「本校の教育に保護者間アンケート」で、「なかまを大切にする心が育ってきている」という設問に対して肯定的な回答の割合を85%以上にする。(カリキュラム・ガバナンス改革関連)</p> <p>② 「全国学力・学習状況調査」の児童質問紙の「学校のきまりを守る」「いじめはどんな理由があってもいけない」に関する項目で肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>③ 集団育成や児童理解の深化に向けて、人権教育や特別支援教育等の研修会を平成29年度に引き続き充実させる。(マネジメント改革関連)</p> <p>④ 年度末の校内調査により学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%にする。</p> <p>⑤ 「学校の決まり・規則をまもっていますか。」の項目に肯定的な回答をしている児童の割合を85%以上にする。</p> <p>⑥ 暴力行為を複数回おこなう加害児童数を前年度より減少させる。</p> <p>⑦ 新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①・②【道徳心・社会性の育成】様々な活動で他者とのかかわりを深めることにより、自尊感情を育むことができるようにする。	
指標 児童アンケート（生活）「設問7」「設問8」に自尊感情に関する設問を設けて、「そう思う」と答える児童の割合を70%以上にする。	
取組内容②・⑤【規範意識の育成】右側歩行ができるようにする。	
指標 日常から全校集会や学級で意識づけを目的とした指導を行うとともに「児童アンケート（生活）「設問4」」を学期に1回以上設定し、そう思うと答える児童を60%以上にする。	
取組内容②・⑤【規範意識の育成】チャイムの合図ですぐに次の行動にうつることができるようにする。	
指標 日常から時間を守るという意識づけを指導するとともに、児童アンケート（生活）「設問3」学期に1回以上設定し、そう思うと答える児童を70%以上にする。	
取組内容③【人権を尊重する教育の推進・生活指導上の課題への対応】	
児童理解を深めるために、人権についての研修会を定期的にもつとともに、情報交流の場を設け、全教職員で共通理解を図る。	
指標 職員会議の後、学級の実態を報告し合い共通理解していく。必要があれば生指部会を開く。特別支援研修会を年2回実施し、人権教育研修会に年1回以上参加する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

(様式 2)

大阪市立大江小学校 平成 30 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>① 「体育科の授業についての児童アンケート」で、「運動に親しむことができている」と肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>② 「本校の教育に関するアンケート」で、「身のまわりをせいけつにしよう」と心がけている」や「食べることは大切である」の項目について、肯定的に回答した児童の割合を平成 85%にする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>③ 「できる喜び」「運動する楽しさ」を味わうことができる体育授業力の向上をめざし、研修会を充実させる。(マネジメント改革関連)</p> <p>④ 立ち幅跳びの記録を前年度より 2 ポイント向上させる。</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①・③【体力向上への支援・体育的活動の充実】	
児童集会で、運動委員会を中心に楽しく運動に取り組めるようにし、体を動かす喜びを味わえるようにする。	
指標 「体育科の授業についてのアンケート」において、体育授業の他に 1 日 1 回は運動場や講堂で運動している児童の割合を 70 パーセント以上にする。	
取組内容②【健康な生活習慣の確立】	
給食後に歯みがきをするようにする。	
指標 給食後に、歯みがきをしている児童の割合を 70 %以上にする。	
取組内容②【食育の充実】	
毎月 1 回「食器をきれいにして片づけよう！ピカピカ食器の日」を設定する。	
指標 毎月食育週間を設定し、「給食の食器はきれいにして片づけている」と答える児童の割合を 90 %以上にする。	
取組内容③【体育科の授業の充実】	
体育授業力の向上をめざし、授業の質の充実と運動量の確保を両立させる指導法を追究する。	
指標 年 3 回の実技研修会を行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	